

各 位

会 社 名 C r o s s Eホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 松尾 貴  
(コード:231A 福証Q-Board)  
問 合 せ 先 常務取締役 鶴田 修一  
T E L (0956-27-0555)  
U R L <https://cross-e-hd.co.jp/>

### 2024年9月期の業績予想について

Cross Eホールディングス株式会社（以下「当社」）は、本日2024年7月26日に福岡証券取引所Q-Boardへの新規上場の承認をされております。（詳細につきましては、福岡証券取引所ウェブサイトでご公表されております開示資料をご参照ください。）

2024年9月期（2023年10月1日から2024年9月30日）における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであります。

項目	決算期	2024年9月期 (予想)		2024年9月期 第2四半期累計期間 (実績)		2023年9月期 (実績)		
		対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対売上高 比率			
売上高		4,105,701	100.0	45.9	2,593,719	100.0	2,814,274	100.0
営業利益		418,531	10.2	23.9	474,705	18.3	337,890	12.0
経常利益		427,691	10.4	24.4	482,958	18.6	343,522	12.2
親会社株主に帰属する当期純利益		288,834	7.0	16.6	321,452	12.4	247,804	8.8
1株当たり当期純利益		133円63銭		150円93銭		116円35銭		
1株当たり配当金		35円00銭		—		—		

(注) 1. 2024年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数（350,000株）を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。

2. 当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記では2023年9月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

## 【2024年9月期業績予想の前提条件】

(当社グループ全体の見通し)

当社グループは、当社、連結子会社（ハウステンボス・技術センター株式会社及び西日本エンジニアリング株式会社）の計3社で構成されており、当社は2022年11月に設立された純粋持株会社であります。

当社グループは、「建設及び機械設置工事業」及び「ファシリティ・マネジメント事業」を主たる事業としております。

「建設及び機械設置工事業」の事業内容は、産業用機械の設置、建物・構造物建設等の各種建設工事であり、「産業用機械の設置工事分野」及び「建物・構造物建設工事分野」に区分されます。

「産業用機械の設置工事分野」では、自治体等が所有する廃棄物焼却・資源リサイクル施設等の新設、更新及びメンテナンス工事並びに民間企業の所有する製造工場のプラント機器据付工事、配管工事及びメンテナンス工事を行っております。当該分野の顧客は、自治体及び民間企業を対象にしております。

また、「建物・構造物建設工事分野」では、各種施設の建設、設備の新設、更新工事等を行っております。当該分野の顧客は、ハウステンボス株式会社を始めとした民間企業、自治体及び個人を対象にしております。

当社グループでは、西日本エンジニアリング株式会社及びハウステンボス・技術センター株式会社が当事業を担っております。

「ファシリティ・マネジメント事業」の事業内容は、各種施設の施設管理であります。ハウステンボス株式会社のテーマパーク施設及び宿泊施設を始め、長崎県、佐世保市等の公共施設、民間施設等の各種施設の指定管理者業務又は施設管理業務を行っております。

当社グループでは、ハウステンボス・技術センター株式会社が当事業を担っております。

(建設及び機械設置工事業)

西日本エンジニアリング株式会社における建設及び機械設置工事業について、前連結会計年度から継続している九州沖縄地区、中四国地区及び東海地区の工事が順調に進捗しました。ハウステンボス・技術センター株式会社の建設及び機械設置工事業においても、新規の大型改修工事の受注や、前連結会計年度までに受注した大規模工事が順調に進捗しました。

(ファシリティ・マネジメント事業)

資材や人件費の上昇はあったものの、自治体及び民間施設の管理受託契約の更新と、コストの上昇分の管理受託価格への反映が順調に進捗しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間（2023年10月1日～2024年3月31日）の実績は、売上高2,593,719千円、営業利益474,705千円、経常利益482,958千円、親会社株主に帰属する四半期純利益321,452千円となりました。

第2四半期末の時点で2024年9月期末までに売上計上される「建設及び機械設置工事業」の受注残が676,648千円あり、これに過去のトレンドから推測される下期受注、下期売上計上される「建設及び機械設置工事業の売上高」及び「ファシリティ・マネジメント事業の売上高」を考慮した2024年9月期の業績予想は、売上高4,105,701千円（前期比45.9%増）、営業利益418,531千円（同23.9%増）、経常利益427,691千円（同24.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益288,834千円（同16.6%増）を見込んでおります。

なお、2024年9月期における当社の通期業績予想については、2023年10月から2024年3月までの月次確定損益に、最新の2024年4月から2024年9月までの見込を合算して算定しております。

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

#### (1) 売上高

売上高につきましては、完成工事高、請負収入、受託料収入及びその他で構成されており、建設及び機械設置工事事業については主に完成工事高、ファシリティ・マネジメント事業については主に請負収入及び受託料収入で構成されております。

(建設及び機械設置工事事業)

西日本エンジニアリング株式会社における建設及び機械設置工事事業について、前連結会計年度から継続している九州沖縄地区、中四国地区及び東海地区の工事が順調に進捗しており、売上高は 1,703,466 千円を見込んでおります。ハウステンボス・技術センター株式会社の建設及び機械設置工事事業においても、新規の大型改修工事の受注や、前連結会計年度までに受注した大規模工事が順調に進捗していることから、売上高は 1,659,057 千円を見込んでおります。

(ファシリティ・マネジメント事業)

資材や人件費の上昇はあったものの、自治体及び民間施設の管理受託契約の更新と、コストの上昇分の管理受託価格への反映が順調に進捗していることから、売上高は 743,178 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期当社グループ全体の売上高は 4,105,701 千円を見込んでおります。

#### (2) 売上原価、売上総利益

売上原価につきましては、外注費、材料費、労務費及びその他経費で構成されております。

(建設及び機械設置工事事業)

売上高の増加に伴い、売上原価も増加すると見込んでおります。売上高の増加により、相対的な労務費率が下がる一方、増加する工事に対応するため外注費比率の上昇を見込んでおりますが、外注費、材料費、労務費、その他経費を含んだ売上原価率は、前連結会計年度とほぼ同じ水準になると見込んでおり、売上原価は 2,598,700 千円、売上総利益は 765,823 千円を見込んでおります。

(ファシリティ・マネジメント事業)

外注費、材料費、その他経費については、外注先人件費、材料価格等の価格上昇分を請負価格、受託契約に反映してきたものの、当社グループ従業員のベースアップによる労務費の上昇が見込まれ労務費率の上昇の結果、売上原価は 574,902 千円、売上総利益 168,625 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期当社グループの全体の売上原価は 3,173,603 千円、売上総利益は 934,448 千円を見込んでおります。

#### (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費については、人件費とその他経費で構成されております。

人件費については、役員報酬、従業員給与、賞与、法定福利費、福利厚生費を含み、販売費及び一般管理費全体に占める割合は 56.0%を見込んでおり、2024 年 9 月期の人件費は 289,128 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期の当社グループの全体の販売費及び一般管理費は 515,917 千円、営業利益は 418,531 千円を見込んでおります。

#### (4) 営業外損益

営業外収益については、スクラップ売却益等 9,372 千円、営業外費用については、固定資産の売却損 108 千円、固定資産除却損 104 千円を見込んでおります。

#### (5) 特別損益、当期純利益

特別利益については、過年度において計上した新規事業関連損失の回収である貸倒引当金戻入額 9,079 千円を見込んでおります。

以上の結果、2024 年 9 月期の親会社株主に帰属する当期純利益は 288,834 千円を見込んでおります。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

ご注意：この文書は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。